

自分にできることを考えよう！

2024年制作



わたしから始める、**愛**のチェーンリアクションのChain Reaction

ひとりひとりの愛ある行動が、あい貧困、ひんこん憎しみ、にく争いの連鎖を断ち切ります。
世界中の、きが飢餓貧困や戦争・紛争でせんそう苦しみに傷ふんそうついている方々を覚えて、きずぜひ「わたしから」行動を始めてみませんか。

◎まわ周りの人に伝える・広める

この冊子で学んだ世界の現状やハンガーゼロの活動について、
まわ周りの人に広めてみませんか。

愛の輪が広がり、聞いた人も同じように何か行動を起こしたり、
さらに周りの人に広めてくださったりするかもしれません。

◎ほ募金する

貧困の連鎖、争いの連鎖を断ち切る、ハンガーゼロの活動を
ぜひ応援お願いします！

わたしにできること

(例)

- ・この冊子をおうちの人と読む
- ・世界について調べる
- ・食べ残しをしない
- ・野菜作りにチャレンジする
- ・お金をためて募金するなど



各 SNS のフォローをよろしくお願いします！
みんなが考えた「わたしにできること」を
#ハンガーゼロな暮らし で投稿してね♪



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1
 東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 517号室
 愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 YWCAビル 6 F
 USA AInote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
 jifh.ainote@gmail.com HP <https://ainote.org>

T E L (072) 920-2225
 T E L (03) 3518-0781
 T E L (052) 265-7101
 T E L (510) 568-4939

・郵便振替 / 00170-9-68590(一般財団法人 日本国際飢餓対策機構)
 ・ゆうちょ銀行又は他の銀行からの自動振替・クレジット、デジタルコンビニ
 ※支援金は随時受け付けております。



Hunger Zero

2024 世界食料デー クイズブック



わたしから始める、**愛**のチェーンリアクションのChain Reaction

おたしから始める



こどももおとなもみんな
知って、考えて、
アクションを始めよう！



コンゴ民主共和国から来たジェロムさん(左)、主食のウガリちゃん(右上)、ウガリの原料メイズ(とうもろこし)くん(右下)

この世界は、いま…



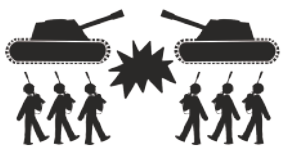
世界中で多くの人たちが、さまざまな理由で起こる貧しさのために、食べるものがなくて苦しい生活をしています。食べ物がないと、十分に栄養が取れないので、病気にかかりやすくなり、安定した仕事につくことが難しくなります。そうすると、収入が少ないので、子どもも働かなくてはならず、その子どもは学校に行くことができません。学校に行けないと、読み書きを学ぶこともできず、働くために必要な技術を身に付けることも難しいので、その子どもたちの将来も貧しくなってしまう。



世界ではこのように世代を超えて貧しさが繰り返されてしまう状態、「**ひんこん れんさ 貧困の連鎖**」が起こってしまっています。



紛争 ↔ 憎しみ



また世界中、特にアフリカではニュースで報じられることのない多くの地域で争いが起こっており、多くの人が避難しながら生活をしています。憎しみから争いが生まれ、争いによって大切な人や物が傷つくことで、さらに憎しみが生まれてしまうという、「**憎しみ・争いの連鎖**」も起こってしまっています。



この冊子を通して、**貧困の連鎖、争いの連鎖を断ち切る**ためにはどうしたら良いか、一緒に考えてみましょう!!



断ち切ろう!

- ① 世界の現状を知ろう! (p.3-4)
- ② 貧困や争いの連鎖を断ち切るハンガーゼロの活動を知ろう! (p.5-7)
- ③ 自分にできることを考えよう! (裏表紙)

クイズ

げんじょう 世界の現状を知ろう!



Q1

世界の飢餓人口はどれくらい?

※飢餓人口: 栄養が足りなくて健康を保つことができない人の数

- ① 約4億人 (20人に1人の割合)
- ② 約8億人 (10人に1人の割合)
- ③ 約12億人 (7人に1人の割合)



Q2

世界では1日2.15ドル以下、約330円 (2024年5月時点) 以下で生活をしている人はどれくらい?

※1日2.15ドルは「国際貧困ライン」と呼ばれ、これより少ないお金で生活しなければいけない状態は「極度に貧しい」とされています。

- ① 約2.5億人 (33人に1人の割合)
- ② 約4.5億人 (18人に1人の割合)
- ③ 約6.5億人 (12人に1人の割合)



Q3

世界では1日に何食分の食料が捨てられている?

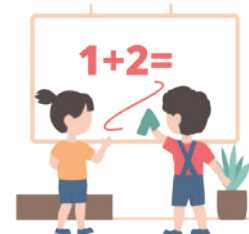
- ① 1日1000食分
- ② 1日10万食分
- ③ 1日10億食分



Q4

世界で小学校に行けない子どもたちの割合は?

- ① 10人に1人
- ② 20人に1人
- ③ 30人に1人





A1 正解は②約 8 億人 (10 人に 1 人の割合) だよ。

栄養が足りなくて健康を保つことができない人が、世界にはおよそ 7 億 8300 万人います。新型コロナウイルスの拡大前の 2019 年と比較して、1 億 2200 万人の増加です。アフリカでは、大陸全体で 5 人に 1 人が飢餓に直面しており、特に深刻な状態です。

※国連食糧農業機関より 2023 年発表の数字を参照

A2 正解は③約 6.5 億人 (12 人に 1 人の割合) だよ。

1 日 2.15 ドル以下で生活している人は、1 日のうち生活するのにかかる費用、たとえば食べ物、飲み水、電気、ガス、家、服のために使うお金が足りず、生きること自体が困難な状態です。このような人の多くは、途上国で暮らしています。



※世界銀行より 2022 年発表の数字を参照

A3 正解は③1 日 10 億食分 だよ。

世界では、年間 10 億 5000 万トン(食べられない部分を含む)の食品が捨てられており、これは一人当たり年間 132 キログラムにあたります。

スーパーやコンビニでの売れ残り、飲食店や家庭での料理の食べ残し、買ったのに使わずに捨ててしまうことなどが原因です。

世界の食料を平等に分け合えば、すべての人がお腹いっぱい食べられるはずなのに、日本を含む一部の国では大量の食品を捨て、途上国では飢餓の問題が進んでいます。



※国連環境計画より 2024 年発表の数字を参照

A4 正解は①10 人に 1 人 だよ。約 7000 万人もいるんだ。

アフリカのサハラ砂漠より南の地域(サブサハラ)では、5 人に 1 人が小学校に行けず、3 人に 1 人が中学校に行けません。貧しいために子どもも働く必要があったり、学用品を買うお金がなかったり、栄養が足りずに集中して勉強できる状態ではなかったりと、貧しい地域の多くの子どもたちが学校に通えていないのです。

※国連教育科学文化機関より 2023 年発表の数字を参照

クイズ

貧困や争いの連鎖を断ち切る
ハンガーゼロの活動を知ろう!

Q5 これはなんだろう?



- コンゴ**
- ① サトウキビ
 - ② 竹
 - ③ トウモロコシ



Q6 なにを作っているのかな?



- ケニア**
- ① 家の土台
 - ② 雨を貯める池
 - ③ 井戸



Q7 なにをしているのかな?

- カンボジア**
- ① テストの採点
 - ② コンテスト
 - ③ 宿題の提出



A5

正解は①サトウキビだよ。
二つの部族が協力し合って収穫したんだ！



この村には2つの部族(バントゥー族、ピグミー族)が暮らしており、以前は憎しみ合い、争い合っていました。しかし2019年から、地元の教会と協力したハンズ・オブ・ラブ・コンゴ(HOLC)の活動を通して、人々は和解(仲直り)について学び始めました。2021年からは一緒に農業を始め、サトウキビ、トマト、キャベツ等を栽培し、市場で販売も始めました。



HOLCが村に入ってから5年間、この村では詳しくは一度も争いは起きていません。動画で！このように、HOLCは人々に憎しみや争いの繰り返しを止めるよう、働きかけています。



A6

正解は②雨を貯める池(貯水池)だよ！
雨の少ない時期に備えているんだ。



FH= 国際飢餓対策機構

FHケニアの活動地ソロコ地域のような乾燥地では、気候変動の影響で、これまでの農業のやり方では栽培が難しくなっています。そこで、地域住民が中心となり、新しい農業を学ぶための「コミュニティ農園」を作りました。地域の農家はここで、環境に優しい持続可能な農法や病害虫の対策などを学び、写真のような貯水池づくりをしました。雨季の間、この貯水池に雨を貯めるので、雨季が終わっても栽培のための水を使えるようになりました。知識を得た人々は自分たちで貯水池を掘ったり、学んだことを他の人に伝えたりと、多くの人々に活動の輪が広がっています。



A7

正解は②コンテストだよ。
読書コンテストが開催されている様子なんだ！



FHカンボジアでは、子どもたちの読書習慣を身につけるために様々な活動をしています。子どもたちがたくさん本を読むことは、とても大切です。本を読むことで、読む力をつけるだけでなく、色々なことを学び、日常生活に役立つ知識や理解力が身につきます。この取り組みを通して、子どもたちはより正しい知識を得て、友達や家族にも伝えていきます。子どもたちが将来の地域リーダーとして立派に成長し、地域の問題に取り組んでいくことを願っています。



FH= 国際飢餓対策機構

子どもと地域の未来のために・・・ チャイルドサポーターを始めませんか？

Child Supporter
チャイルドサポーター

チャイルドサポーターは、子どもを取りまく環境を改善できるよう、子ども、親や地域リーダー、地元の行政に働きかけながら、教育や保健衛生活動、生計向上活動などを中心に地域開発を行っていきます。この働きがやがて地域全体を変えていき、助け合いながら貧しさから抜け出せることを目指していきます。※国によって活動分野は多少異なる場合があります



子どもたちの希望あふれる将来のため、
ぜひチャイルドサポーターとして応援を始めませんか？

チャイルドサポーター：月々4000円



詳しくはHPで！



支援地域の特定の子どもとつながり、地域で行われる活動をご支援いただきます。サポートチャイルドと手紙による交流ができます。

フィールドサポーター：1000円～



動画もチェック！



月々または自由なタイミングで支援できます。サポートチャイルドとの交流はありません。

お問い合わせはチャイルドサポーター事務局へ **直通 TEL 072-920-2226**